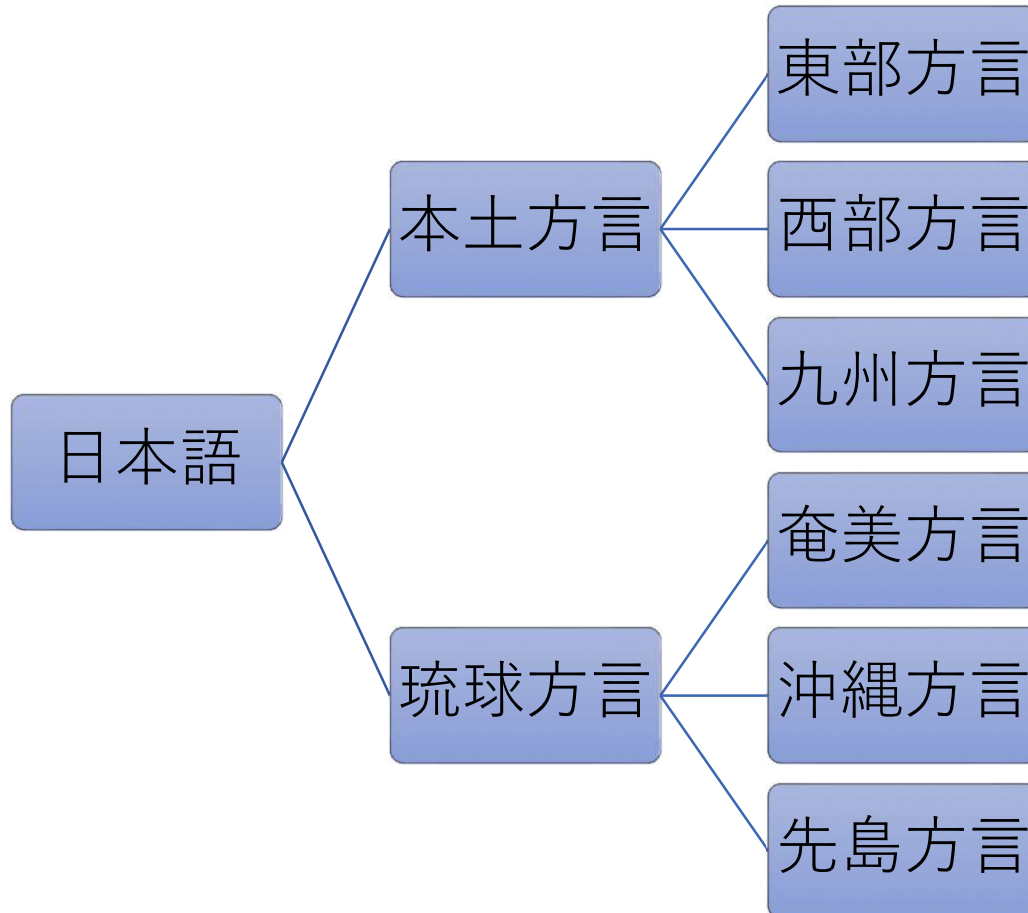


日本の方言1

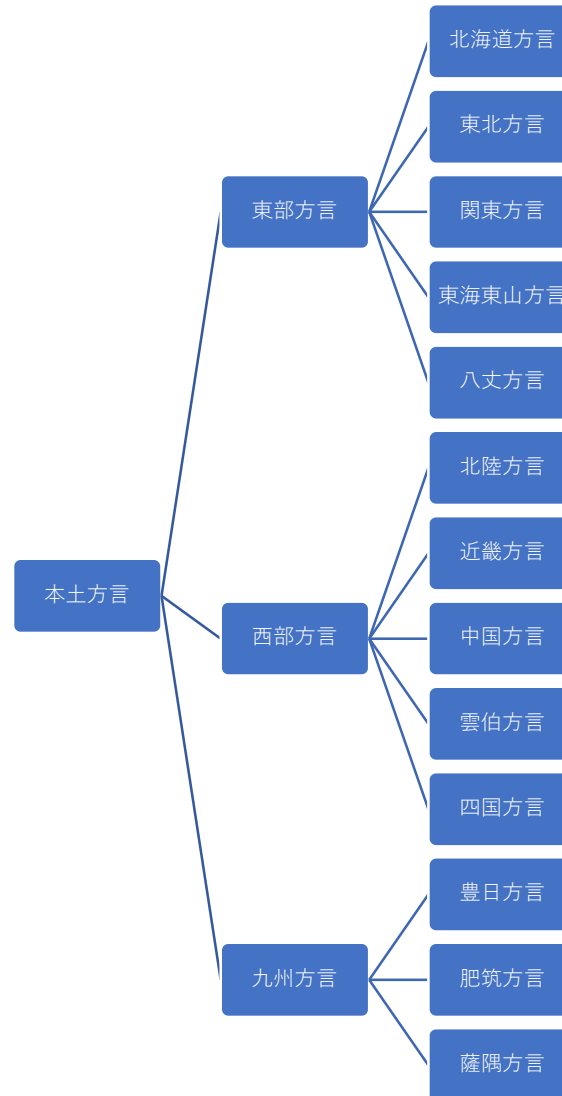
東部方言

日本の方言区画

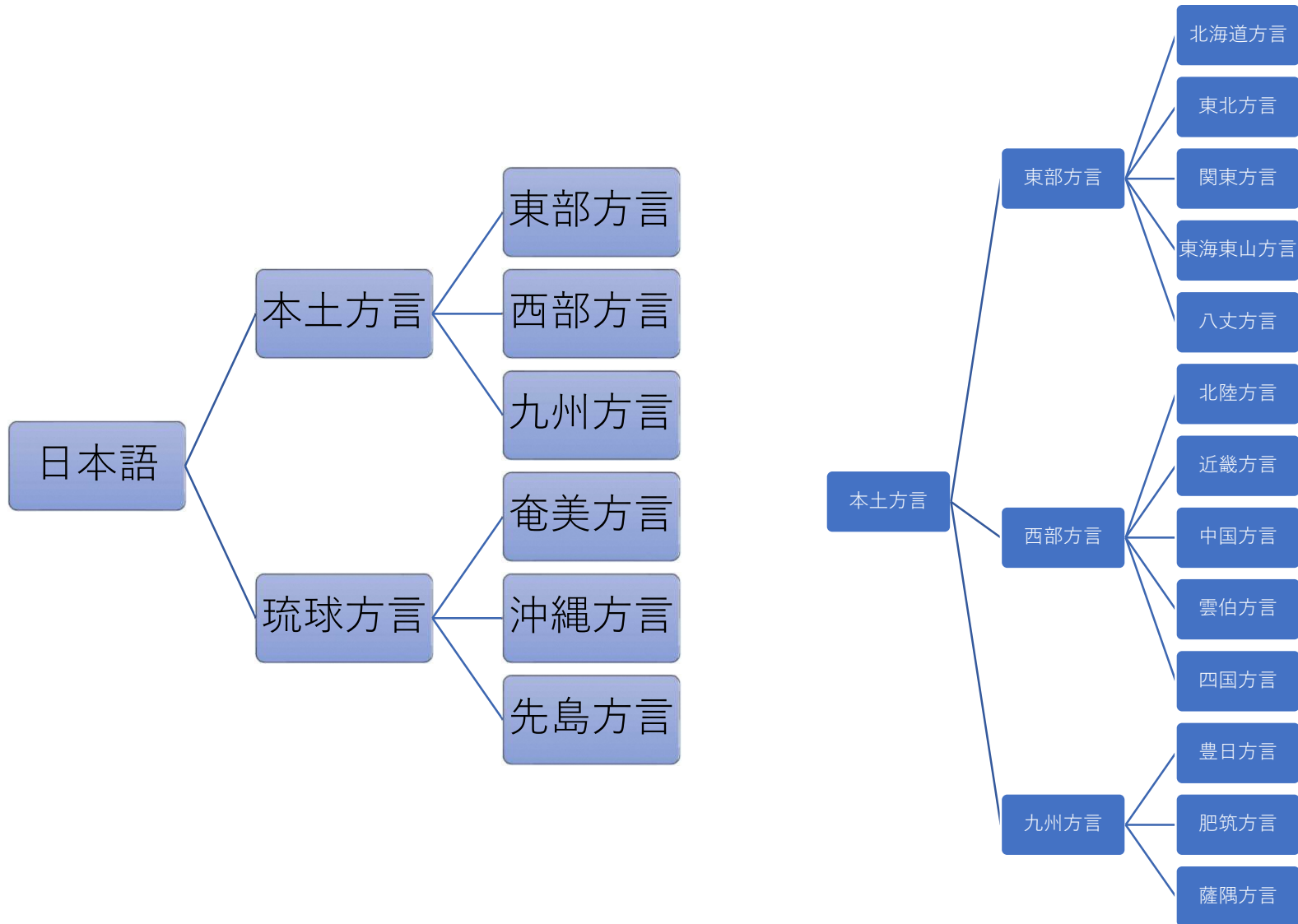
東條操による区画



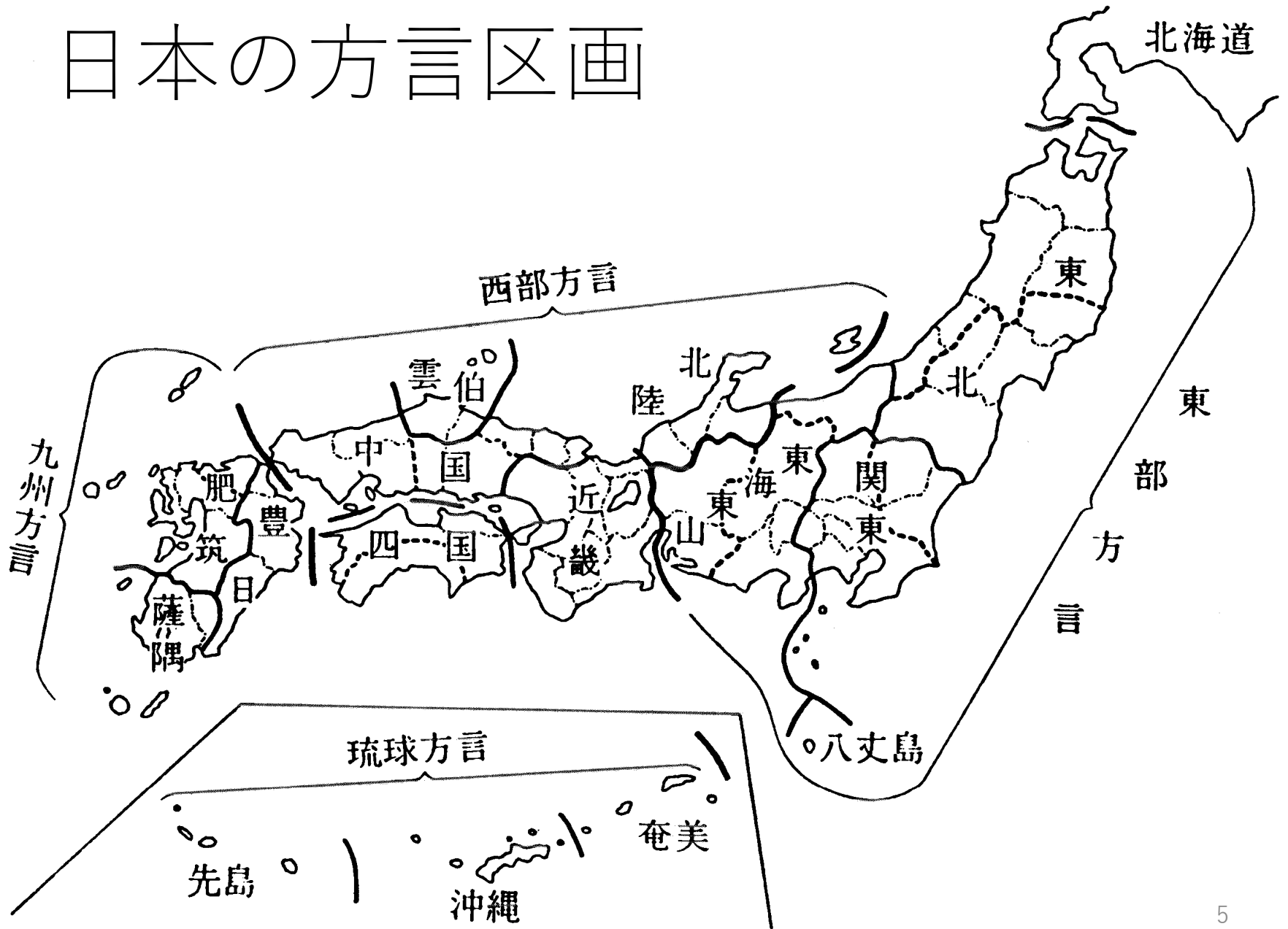
日本の方言区画



日本の方言区画



日本の方言区画



本土方言

- 基本的に 5 母音
- 終止形 = 連体形
- 東部方言 / 西部方言 / 九州方言

東部方言

- 子音が強く，母音が弱い⇒音声記号と音声器官
→母音の無声化 草 クサku₀sa，舌 シタçita
- アクセント
東京タイプ（核の有無と位置で決定される）が多い
体0，朝日1，卵2，男3
※ただし，アクセントのない地域もある
- 北海道方言／東北方言／関東方言／東海東山方言／八丈方言

北海道方言

- 東北方言に類似
- 沿岸（古）／内陸（新）
- 特有の表現：接続詞シタツケ，助動詞ツシヨ

東北方言

- し = す = しゅ 梨 = 茄子
じ = ず = じゅ 知事 = 地囃
ち = つ = ちゅ 土 = 筒
→ 「一つ仮名」

じ	ぢ
ず	づ

一つ仮名
東北方言、北陸方言、雲伯方言

じ	ぢ
ず	づ

二つ仮名
関東方言…

- い = え 息 = 駅 ※母音単独のみ き / け 木 / 毛
- a i, a e > ε ナイ「無い」 > ネア マエ「前」 > メア
- 北部では撥音・促音・長音が短く発音 東奥日報：トニポ
- 南部は無アクセント

じ	ぢ
ず	づ

四つ仮名
高知など

- 語中のカ・タ行音が有声化 / ガ・ダ行音は鼻音化 g / ŋ d / ~d, nd
烏賊：イガ / 毬：イカ°
柿：カギ / 鍵：カキ°
旗：ハダ / 肌：ハンダ
- 助詞サ
方向：東京サ行く
目的：見サ行く（おもに太平洋側）
存在場所：ここサある（おもに日本海側）

関東方言

- 標準語の基盤
- ai > e: 大工：デーク
- 推量・勧誘のべー 行くべー 「関東べい」
- 栃木，茨城は無アクセント

東海東山方言

- 東部方言と西部方言の境界
 - 西部方言的要素が現れる地域がある
 - 否定辞ン，存在動詞オル
 - サ行イ音便：ダイタ「出した」
- 推量の助動詞 ラ・ズラ
 - 行くラ 行くズラ
 - 山ズラ

八丈方言（八丈島，青ヶ島）

- えい：エイ センセイ「先生」
- あい：エー デーコン「大根」
- 終止形／連体形
カコワ「書く」（終止）／カコ物「書く物」（連体）／カクノーワ「書くだろう」（推量）
タカキャ「高い」（終止）／タカケ山「高い山」（連体）／タカカンノーワ「高いだろう」（推量）
- カカラ「書いた」（過去）
タカカララ「高かった」（過去）
- 無アクセント
- 万葉集東歌に記録された上代東国方言の特徴を残す
布路与伎（フロヨキ：降る雪，巻14・3423）
多刀都久（タトツク：立つ月，巻14・3476）
可奈之家児呂（カナシケコロ：愛しい児，巻14・3564）
奈賀気己乃用（ナガケコノヨ：長いこの夜，巻14：4394）
- ユネスコ認定の危機方言の一つ
八丈町：人口約7500人、青ヶ島村：人口約170人